



平成29年3月

杉並区立富士見丘中学校

第10号

学校運営協議会だより

自己肯定感

学校運営協議会会長
ちよう しゅんすけ
長 俊介
(日本スクールソーシャルワーク協会会長)
 (修復的対話フォーラム副理事長)



今の子どもたちは自己肯定感が低いと言われています。実際 2015 年に発表された高校生のデータでは日本・アメリカ・中国・韓国の中で、自分はダメな人間と思うことがあると答えている子どもは、日本が一番高く72.5%でした。私に関わっている子どもたちも、自信を無くし落ち込んでいる場面が多々ありました。自己肯定感が低いというか、自己評価の厳しい子どもたちでした。でも、その状態を苦しむのではなく丸ごと認めることで、少しずつ楽になっていきます(簡単ではありませんが)。人は落ち込むと、誰も自分のことをわかってくれないと考えがちですが、実はその人のまわりに、気持ちを理解している人や理解をしようとしている人が必ずいます。私もいろいろ壁にぶつかって落ち込むことがたくさんあります。そんな時は、抗っても仕方がないので流れに任せることにしています。人生、生まれてきたこと自体が奇跡なのですから。

学校運営協議会は何のためにあるか

校長
しぶや まさひろ
渋谷 正宏



学校運営協議会制度導入の目的は大きく二つである。第1は、「学校改善」であり、地域住民や保護者等の意向を的確かつ機動的に反映させることで、学校の管理運営の改善を図るというガバナンス強化を目指すことである。第2は「地方創生」であり、地域との連携・協働体制を構築し、学校を核とした地域づくりへの発展を目指すことである。

さて、富士見丘中学校学校運営協議会は、「学校改善」と「地方創生」という大きな使命を果たしているのだろうか？

★学校のどの部分をどのように改善していくのか？

★学校を核とした地域づくりに向けて具体的に何を為すべきか？

校長として原点を見つめ、自問自答しながら進んでいきたい。

学校運営協議会新委員の紹介



新委員
きむら れいこ
木村 玲子

『自慢の中学校に』

二人の子どもは楽しく充実した3年間を過ごさせていただきました。地元で過ごした子ども達も高校・大学と世界が広がっていきます。そんな時『僕の私の富士見中はね…』と誇りに思ってもらえるよう、少しでも学校生活のお役に立てれば嬉しいです。

24、25 年度 PTA 会長
 高井戸地区主任児童委員

平成28年度 活動報告

□学校運営協議会の開催(月2回、合計で18回開催)

- ・校長の学校運営に関する基本的な方針の承認
- ・学校より行事・校内の様子についての報告
- ・校長、副校長を含め10名の教員との面談、生徒会・PTA役員との懇談
- ・教職員の任用に関する意見のまとめ

□学校生活に対する意識調査の実施(年1回)、結果報告

□学校支援本部 JOINT との連携

□全国コミュニティスクール全国大会に参加

□区の教育シンポジウムに参加

□学校運営協議会だよりの発行

配布したプリントをホームページ上で見られるようにします



情報提供の 1 つの手段として、現在の富士見丘中学校のホームページを少し改良し、配布したプリントをホームページ上でも見られるようにいたします。
ホームページへの掲載は毎週 1 回の予定で、週内に配布したプリントを学年別に見られるようにします。

ここをクリックすると配布したプリントが見られるようになります

学校支援本部JOINTの活動紹介

・「算数・数学特別講座」の実施（中1・中2対象）

火 金 朝 7:45～8:15
水 15:00～15:50

算数・数学の基礎・基本の学び直しを希望する生徒に、多くの講師の方々（地域の方・卒業生）が 1 人 1 人採点し学力の定着を確認していきます。



1 人 1 人に必要なプリントを用意

・社会貢献活動に多くの生徒が参加しました



H29 年 1 月 24 日
富士見丘町会節分祭
「豆まき」準備作業ボランティア

H29 年 1 月 29 日
第 33 回日本障がい者
ダーツ選手権運営ボランティア
於 浴風会コミュニティホール



H29 年 2 月 5 日
富士見丘町会防災訓練
運営ボランティア

・富士見丘商店街通り月見橋花植えボランティア ～Hana-Sodate-Tai 1 期生が継続して世話をしています

